

平成27年度 しが生物多様性大賞 受賞活動

1. 活動の名称

琵琶湖外来魚駆除の日

2. 活動の概要

目的・目標	当日開催する、外来魚に関連する様々なイベントに参加することで、琵琶湖の外来魚問題を知るきっかけとしてもらう。
活動エリア	草津市下物町(烏丸半島一帯)
活動の参加者	一般参加者・(+例年)近畿労働金庫・三菱重工工作機械株式会社 (+昨年の実績)西日本高速道路労組・THK株式会社・アルフレッサ株式会社・草津ライオンズクラブ・サムスン日本研究所・NECフィールドディング株式会社
活動時期	5月最終日曜日

3. 取組内容

・外来魚駆除釣り大会

“琵琶湖の外来魚問題を知ってもらうには、実際に竿を出して釣ってもらうのが一番”と考え、外来魚釣りを体験してもらいつつ、外来魚の駆除にご協力いただいています。これまでの最高は、一日に270kgを超える外来魚が釣り上げられました。

・琵琶湖の幸の試食会

“外来魚に食べられている琵琶湖の魚はこんなに美味しい”ということを実感してもらおうと、琵琶湖の幸を試食してもらっています。去年はコアユとスジエビの空揚げとコアユの佃煮を食べてもらいました。

・外来魚解剖教室

琵琶湖の外来魚はどんなものを食べているのかや、どれくらい多くの卵を持っているかなどを見もらうため、水産試験場の職員さんの指導のもと、子どもたちを中心に外来魚の解剖をしてもらっています。

・地引き網体験

釣りだけでなく、網ではどんな魚が捕れるかを見もらうと、地曳き網体験を行っています。地引き網の綱を引くのは主に子どもたちで、毎年一生懸命手伝ってくれています。

・在来魚と外来魚の比較展示

琵琶湖に棲む生きた外来魚と在来魚を並べて展示し、外来魚はたった2種類なのに対し、在来魚は様々な種類がいることを見もらっています。この時期に誕生するブラックバスの稚魚の群れも一緒に展示しています。

活動報告URL

<http://homepage2.nifty.com/mugituku/anniversary/anniversary.html>



懸命に綱を引く地引き網体験の参加者



水試職員の指導で外来魚を解剖する子どもたち

4. 今後の課題・将来像等

外来魚のいない琵琶湖を目指して、“5月の最終日曜日は琵琶湖の外来魚問題を考える日”として「琵琶湖外来魚駆除の日」を続けていますが、今後も引き続き継続させるには様々な課題も見えてきました。

・「イベントの刷新」

長年同じイベント内容で実施しているので安定感はあるものの、新たな参加者を呼び込むためには、新たなイベントも取り入れたいと考えています。そこで、楽しみつつも参加者に琵琶湖の環境問題を知ってもらえるようなイベントを開催できる協力団体を広く募集しています。

・「新たな参加者の開拓」

長年継続して活動するうちに、徐々に参加者の輪は広がりつつありますが、それでも告知等には限界があり、琵琶湖の環境に関心のある多くの皆さんにこの活動が認知されないままです。そこで、環境問題に関心のある皆さんをはじめ、環境活動への参加を検討されている企業や団体の皆さんには、この活動への参加をご検討いただければと願っています。

5. 連絡先等

琵琶湖を戻す会 事務局 高田 昌彦
542-0066 大阪府中央区瓦屋町1-10-2
090-8527-3752 / 06-6768-9408(FAX)
E-mail:masahiko.takada@nifty.ne.jp
<http://homepage2.nifty.com/mugituku/>